

お題「電車」(連記) 谷口ひよこ選

目と声で優先席を譲り合う
 全員がスマホに見入る電車内
 二人掛け当たり外れのあるシート
 リニアならほぼトンネルの闇の中
 関ヶ原外は目映い銀世界
 ラッシュアワー寿司詰め電車懐かしい
 のぞみより鈍行にある旅気分
 一人ならのらりくらりと各停で
 青空に大歓声の富士の山
 汽笛なり煙をはいて昭和いく
 日本語どこに観光地行き電車
 佳 えん罪にならぬ男性専用車
 佳 急ぐのにゆっくり駅に来る電車
 佳 優先席狸寝入りの若い子等
 佳 路面電車のどかな昼の城下町
 秀 ひた走る一輛電車頼もしい
 軸 踏切で見送る母の面影が
 ひよこ

お題「見る」伊藤基弘選

ラストまで思い出せずに二度目見る
 音無くし観る世界へと移行中
 可愛い子そっと目を遣る親の顔
 スピーチに自負と悔いとが見え隠れ
 老いらくの恋の行方が気にかかる
 悲喜苦楽ドラマの中に吾を見る
 並んでも見ている景色違ってる
 孫が言うメイクをしても変わらんで
 鏡見るシミ取り塗った次の朝
 正夢か枕の下の宝船
 佳 たまさかに父似母似と見る鏡
 佳 原発はいいとこだけを見せたがる
 佳 茶柱をこれみよがしの安いお茶
 佳 スマホ見て電車中は会話なし
 秀 車窓から見える暮らしに心寄せ
 軸 日焼けした母の顔みる野良仕事
 基 弘

お題「転機」五十嵐千楽選

意識せず生きてきたのか悩む題
 今年こそあれもこれも初日の出
 親元を離れて見えてくる景色
 郁 子

今日が過ぎ明日は明日日々転機

人生の転機さまさま星の数

移住して子等の笑顔に救われる

WBCあの一球が転機かな

黄泉の国呼び戻されてまた五欲

成人式ヤンチャするのも今日限り

佳 寒雷がひびき決意の四股を踏む

佳 病得て少しまあるくなりました

佳 ドラフトでチーム変わって得た転機

佳 仕舞い風呂ああしていたら今頃は

佳 民衆の声が社会を動かす日

秀 乗り遅れそれが良かった君に逢え

軸 元彼に未練などない女性軍

お題「あつさり」(共選) 前田幸男選

たんたんとして過去を消しさるシュレツダー
 情で来る頼みあつさり断れぬ
 別れ際やけにあつさり右左
 平和です妻に白旗早々と
 過ちをさつと許せる太っ腹
 言いにくい事もあつさり苦労人
 罪詫びて次の一步が踏み出せる
 嘘がばれ妻の一言やつぱりね
 うすあじに五十年たちやつと慣れ
 あつさりと伝えるはずが遠回し
 じゃあここであつさりと輪を抜ける人
 あつさりと妻の一言憂さ晴れる
 気さくさが生んだ悲劇のあと始末
 竹割った気性に欲しい思いやり
 秀 わだかまり全部吐き出し腹が減る
 軸 赤い糸ふつりと切れてさばさばと

お題「あつさり」(共選) 原 広子選

あつさりと伝えるはずが遠回し
 別れ際やけにあつさり右左
 うすあじに五十年たちやつと慣れ
 あつさりと土地売る国のあさましさ
 過ちをさつと許せる太っ腹
 赤い糸ふつりと切れてさばさばと
 罪詫びて次の一步が踏み出せる
 じゃあここであつさりと輪を抜ける人
 あつさりかこつてりか問うラーメン屋
 たんたんとして過去を消しさるシュレツダー

幸男

幸男

哲子

基弘

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

正清

情で来る頼みあっさり断れぬ アキラ
あっさり物が足りないは過去の事 ミチ
平和です妻に白旗早々と 千楽
あっさりと諦めなさい過去の女 純一
秀 あっさりと妻の一言憂さ晴れる 純一
軸 言いにくい事もあっさり苦勞人 広子

課題吟、今月の秀句 おめでとうございます

お題「電車」谷口ひよこ選 哲子
ひた走る一輛電車頼もしい 哲子
お題「見る」伊藤基弘選 哲子
車窓から見える暮らしに心寄せ 哲子
お題「転機」五十嵐千楽選 えいじ
乗り遅れそれが良かった君に逢え 哲子
お題「あっさり」前田幸男選 純一
わだかまり全部吐き出し腹が減る 純一
お題「あっさり」原 広子選 純一
あっさりと妻の一言憂さ晴れる 純一

自由吟 野々村アキラ選

民主主義手続き踏んだヒトラーも 千楽
俺もいる忘れないでとウクライナ

頭髪が赤白ピンク振り返える 純一
転勤で窓の横から窓際へ

ジャンボくじ内緒口座のスタンバイ ちさと
言い返し白い椿がどぶの中

枯れ葉踏む園児のくつが歌う朝
リフォームをしない心のキズだらけ

雪もよい墓石だけが右を向く 正清
呼びだしのハガキの束のゴムバンド

雑巾がごっそりととる床のグチ
当選に刃の上の一票差

初スマホ孫が先生爺生徒 基弘
亡くなった人に罪きせ知らぬ顔
ばらまいて後で税金まきあげる
リサイクル服のかけつき思い出す

一年のあまりの早さ砂時計 きよな
好きな人と食べりや茶漬けも星三つ
春待つて芽を少しだけ覗かせる
小正月あずき粥たべ皆元氣

新年の喜び断った震度七 哲子
何故だろウ賀状三枚くれた友

正月明け七草粥に休憩す
寒い寒い折り合いつかぬ光熱費

十七番お礼はポルシェサプライズ 健一
一夜明け引つ張りだこの漫才師

ヒーローは翔平聡太ベ尚弥
夫には私の好きなチョコレート

広辞苑スマホに勝つは重さだけ 乃り子
旧モデル私にとつてニューモデル

子が三人凡人という宝物
若いねと言われなかった若い頃

ゴルフボールいつか真つすぐ飛ぶのかな
きのうから散歩行きたび迷子です

年始め自然の怒り身に沁みる えいじ
なんでなん大事な人がまた欠ける

子と行った水族館の液状化
今年はとプランの矢先復帰待つ

年初からブランドあり法事あり 純一
前向きな気持ちで今年コツコツと

祝年賀はがきにライン電話など
電車の名全部言えたよ元神童

故郷の無事のラインにホツとする
元旦のニュース悲しく下を向く

情報がたんと集まる聞き上手 広子
鈍行でうんと道草食べていく

山越えて失くしたものと得たものと
南天の赤に弱気を笑われる

南天の赤に弱気を笑われる

目出度いと祝った頃のお正月
地を揺らす神よ悪戯やめ給え
尾を立てて元旦ミケの朝帰り
辰と戌妻に遠吠えしてる僕

義雄

誕生日ひとり食べてるモンブラン
アマゾンで孫の誕生祝い買う
池部良高倉健の口真似し
止めたのに減ると寂しい年賀状

英二

年賀状生きていますと知らせあう
兄が逝きひと悶着の墓の守り
歌会始ぬくい響きが心地よい
大寒の昼は土鍋でみそ煮込み

郁子

老いの聖夜シュークリームが丁度よい
つつがなく過ぎた一年ただ感謝
ささやかにご鎮守さまへ初参り
被災地の苦悩去る人残る人

アキラ

勉強会 お題「祝う」

佳句五句 奥村義雄選

村に赤ちゃんバンザイがこだまする
祝い事できる世の中和です
祝日に国旗かかげる家まばら
喜寿の春先が不安な祝い酒
祝二十歳孫の未来を見ていたい

千楽 純一 基弘 アキラ 郁子

勉強会互選上位句 (佳句五句以外)

成人式ト派手衣装の競い合い
年明けの続く惨事に祝意消え
同じ日の生まれを祝う祖母と孫
敬老の祝いを感謝せぬ日本
高齢化百寿の祝い増え続く
古稀米寿祝う数だけいい笑顔
手帳買ういいことあるぞ今年こそ
三が日も出勤のひとりもの
辰年も虎が躍動前祝い
祝う気が吹き飛ぶテレビ大地震

アキラ 博文 純一 幸男 幸男 きよな えいじ ひよこ 健一 ミチ

推薦十句 奥村義雄選 全句の中から選句
始発便いつもの顔が勢揃い 純一

あの時の父の拳固で今のぼく アキラ
親元を離れて見えてくる景色 郁子
寒雷がひびき決意の四股を踏む 正清
この苦難今を転機と前向きに ひよこ
罪詫びて次の一步が踏み出せる アキラ
雑巾がごっそりととる床のグチ 正清
若いねと言われなかった若い頃 乃り子
被災地の苦悩去る人残る人 アキラ
村に赤ちゃんバンザイがこだまする 千楽

二月の予定

二月五日(月) 十三時〜 いきいきホール一階
よもやま話の会 コーヒーの雑談会です

*日頃の疑問もこの機会にどうぞ

*自由にご参加ください

二月十五日(木) 十三時〜 勉強会

いきいきホール一階 お題「鬼」 二句

アキラ迄前日までに事前投句(投句一覧作成)

*ご希望の方どなたでも参加してください

*二月は第3木曜日に行っています

二月二十日(火) 十七時締め 二月誌上句会

「石」(連記) きよな 「探す」健一 「欲」義雄

「ややこしい」(共選) 純一 哲子 各二句

自由吟アキラ 四句以内 推薦十句 広子

アキラまでメール又は封書で投句

日頃思うことを、五七五で詠んでいます。

新入会員歓迎 新会員向け勉強会実施中

入会金不要 月会費百円

お問い合わせ

*お電話ください 資料持参します

原 広子 79・0061

野々村アキラ 090・6961・1292